



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社セック 上場取引所 東
コード番号 3741 URL <https://www.sec.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 櫻井 伸太郎
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 杉山 寿顕 TEL 03-5491-4770
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,317	18.3	827	8.2	889	9.8	623	10.1
2025年3月期中間期	4,495	14.8	764	20.7	809	21.8	566	22.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	61.10	—
2025年3月期中間期	55.56	—

※2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	11,181	9,440	84.4
2025年3月期	11,775	9,330	79.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 9,440百万円 2025年3月期 9,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	56.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 105円00銭 記念配当 5円00銭（上場20周年記念配当）

3. 2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の年間配当金は112円00銭となります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 10,700	% 3.9	百万円 1,840	% 2.6	百万円 2,010	% 6.1	百万円 1,395	% 3.8	円 銭 136.76

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、通期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、通期で273円53銭となります。

※ 注記事項

- （1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	10,240,000株	2025年3月期	10,240,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	30,388株	2025年3月期	39,914株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	10,203,716株	2025年3月期中間期	10,196,414株

※2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で本日開示いたします。

また、当社は2025年11月25日（火）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、T D n e t で同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国情報サービス業の業況は、総務省「サービス産業動態統計」によると、月別売上高は前年同月比で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察されます。当社事業分野では、非接触IC関連の開発や、医療分野、交通分野の開発が増加するなど、需要構造の変化が継続しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し、増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、減少傾向が継続し、売上高は355百万円(前年同期比24.3%減)となりました。インターネットBFは、非接触IC関連の開発が増加したことに加え、民間企業向けのDX関連の開発も増加し、売上高は843百万円(同31.3%増)となりました。社会基盤システムBFは、医療分野の開発が大幅に増加したことに加え、交通分野や防衛分野の開発も増加し、売上高は2,718百万円(同32.3%増)となりました。宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、宇宙天文分野の開発が増加し、売上高は1,399百万円(同5.5%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、社会基盤システムBF、インターネットBFが増加し、モバイルネットワークBF、宇宙先端システムBFが減少しております。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高5,317百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益827百万円(同8.2%増)、経常利益889百万円(同9.8%増)、中間純利益623百万円(同10.1%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	470,465	10.5	355,979	6.7
インターネット	642,419	14.3	843,535	15.9
社会基盤システム	2,055,528	45.7	2,718,533	51.1
宇宙先端システム	1,326,985	29.5	1,399,541	26.3
計	4,495,399	100.0	5,317,590	100.0

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	369,422	77.1	192,230	79.1
インターネット	928,710	136.8	514,737	143.1
社会基盤システム	3,226,639	97.5	5,341,652	95.8
宇宙先端システム	1,419,555	99.5	839,681	85.0
計	5,944,327	100.9	6,888,303	96.1

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ593百万円減少し、11,181百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,211百万円・受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,412百万円などによる流動資産の減少527百万円、投資その他の資産の減少110百万円などによる固定資産の減少66百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ703百万円減少し、1,741百万円となりました。これは主に、買掛金の減少458百万円・未払法人税等の減少160百万円などによる流動負債の減少771百万円、固定負債の増加67百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、中間純利益による増加、配当金支払いによる減少、自己株式処分による増加などの結果、前事業年度末に比べ109百万円増加し、9,440百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の79.2%から84.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ2,211百万円増加し、4,443百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動の結果得られた資金は2,689百万円となりました。これは主に、売上債権の減少2,425百万円・税引前中間純利益889百万円による増加、仕入債務の減少458百万円・法人税等の支払額365百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して971百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動の結果得られた資金は81百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入200百万円による増加、有形固定資産の取得による支出75百万円・敷金及び保証金の差入による支出35百万円による減少によるものであります。前年同期は320百万円の支出でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果支出した資金は559百万円となりました。これは主に、配当金の支払い557百万円によるものであります。前年同期と比較して116百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2025年5月12日の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,231,686	4,443,325
受取手形、売掛金及び契約資産	6,595,520	4,183,152
商品及び製品	377,680	35,445
その他	121,332	136,535
流動資産合計	9,326,219	8,798,459
固定資産		
有形固定資産	175,130	214,707
無形固定資産	8,486	13,421
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,059	1,012,302
その他	1,086,599	1,142,708
投資その他の資産合計	2,265,658	2,155,010
固定資産合計	2,449,275	2,383,139
資産合計	11,775,495	11,181,599
負債の部		
流動負債		
買掛金	973,435	514,637
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	402,113	241,487
賞与引当金	380,000	336,000
役員賞与引当金	31,250	-
受注損失引当金	20,000	5,463
その他	438,916	376,834
流動負債合計	2,281,715	1,510,423
固定負債		
資産除去債務	58,948	68,090
その他	104,569	162,907
固定負債合計	163,517	230,998
負債合計	2,445,233	1,741,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	597,471	611,411
利益剰余金	8,208,810	8,271,249
自己株式	△48,295	△36,857
株主資本合計	9,235,286	9,323,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,975	117,073
評価・換算差額等合計	94,975	117,073
純資産合計	9,330,262	9,440,177
負債純資産合計	11,775,495	11,181,599

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,495,399	5,317,590
売上原価	3,103,987	3,760,850
売上総利益	1,391,411	1,556,739
販売費及び一般管理費	627,368	729,667
営業利益	764,042	827,072
営業外収益		
受取利息	4,668	9,911
受取配当金	777	847
不動産賃貸料	2,026	2,069
補助金収入	15,393	26,163
受取出向料	22,021	22,235
その他	1,866	2,055
営業外収益合計	46,755	63,282
営業外費用		
支払利息	398	550
不動産賃貸費用	738	740
支払手数料	1	2
その他	2	0
営業外費用合計	1,141	1,294
経常利益	809,656	889,060
税引前中間純利益	809,656	889,060
法人税、住民税及び事業税	228,904	207,959
法人税等調整額	14,250	57,656
法人税等合計	243,154	265,616
中間純利益	566,501	623,444

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	809,656	889,060
減価償却費	19,061	24,705
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,000	△44,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,250	△31,250
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△14,536
前払年金費用の増減額(△は増加)	△32,430	△31,489
受取利息及び受取配当金	△5,446	△10,758
支払利息	398	550
売上債権の増減額(△は増加)	1,417,700	2,425,312
未収入金の増減額(△は増加)	△18,711	△30,049
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23,692	342,235
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,969	△458,798
未払金の増減額(△は減少)	△16,125	△139,031
未払消費税等の増減額(△は減少)	△133,453	89,646
その他	19,171	32,882
小計	1,933,911	3,044,479
利息及び配当金の受取額	5,263	10,819
利息の支払額	△402	△550
法人税等の支払額	△221,496	△365,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,717,275	2,689,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,415	△75,902
無形固定資産の取得による支出	△11,389	△5,899
投資有価証券の取得による支出	△300,967	△974
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	200,000
敷金及び保証金の差入による支出	—	△35,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,772	81,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△442,384	△557,761
自己株式の取得による支出	—	△205
リース債務の返済による支出	△793	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△443,178	△559,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	953,322	2,211,638
現金及び現金同等物の期首残高	2,968,575	2,231,686
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,921,897	4,443,325

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。